

## 中野区教育委員会 部活動のあり方に関する方針

### ～中野区部活動ガイドライン～

#### 【本方針策定の趣旨等】

○本方針は、中野区における中学校段階の部活動を主な対象とし、生徒にとって望ましい部活動の環境を構築するという観点に立ち、部活動が以下の点を重視して、地域、学校、活動内容等に応じた多様な形で最適に実施されることを目指す。

- ・知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育む学校教育の意義を踏まえ、生徒がスポーツ、文化及び科学等を楽しみ、望ましい人間関係等を図り、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力や様々な文化及び科学と豊かに関わる資質・能力の育成を図るとともに、バランスのとれた心身の成長と学校生活を送ることができるようにすること。
- ・部活動は、生徒の自主的、自発的な参加により行われるものだが、学校教育の一環として教育課程との整合が図られるよう留意し、生徒の過度の負担にならないことはもちろん、本来の教育活動が妨げられることがないよう合理的でかつ効率的・効果的に取り組むこと。
- ・学校全体として部活動の指導・運営に係る体制を構築するとともに、地域や家庭の理解と協力のもと、生徒の健全育成に資すること。

○本方針は、スポーツ庁の「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」及び東京都教育委員会の「運動部活動の在り方に関する方針」に則り、持続可能な部活動を推進する上でのガイドラインとして位置付ける。

○学校の部活動は、自主性を重んじ、スポーツ、文化及び科学等に興味・関心のある同好の生徒が参加し、異年齢との交流の中で生徒同士が互いに協力し合って友情を深めるなど望ましい人間関係の育てることができるとともに、学習意欲の向上、自己肯定感、責任感、連帯感の涵養に資するなど、多様な学びの場として教育的意義が大きいものである。こうしたことを十分踏まえて、部活動の充実が図られることを目指す。

#### 1 適切な運営のための体制

##### (1) 部活動方針の策定等

ア 校長は、本ガイドラインに則り、毎年度、「学校の運動部活動に係る活動方針」を策定する。部活動顧問は、年間の活動計画（目標・活動内容及び過去の実績等）を作成し、校長に提出する。様式は、中野区教育委員会の参考様式のほか、各学校の実態に合わせて作成することができる。

イ 校長は、活動方針、年間計画等を学校のホームページへの掲載等により公表する。

##### (2) 指導・運営に係る体制の構築

ア 校長は、生徒や教師の人数等を踏まえ、指導内容の充実、生徒の安全確保、教師の長時間勤務解消等の観点から円滑に部活動を実施できるよう、適正な数の部活動を設置する。

イ 校長は、部活動顧問の決定に当たり、校務全体の効率的・効果的な実施に鑑み、教師の他の校務分掌や部活動指導員の配置状況を勘案した上で行うなど、適切な校務分掌となるよう

- に留意するとともに、学校全体として適切な指導、運営及び管理に係る体制の構築を図る。
- ウ 校長は、活動実績の確認等により、各部活動の活動内容を把握し、生徒が安全に活動を行い、教師の過度の負担とならないように、指導・是正を行う。
- エ 教育委員会及び校長は、文部科学省や東京都教育委員会からの通知を踏まえ、法令に則り、業務改善及び勤務時間の管理等を行う。
- オ 教育委員会は、各学校の生徒や教師の人数、外部指導員の導入状況や校務分担の実態等を踏まえ、部活動指導員を積極的に任用し、学校に配置する。
- カ 教育委員会は、管理職、顧問及び外部指導員等を対象とする研修等の取組を行う。

## 2 合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進のための取組

### (1) 適切な指導の実施

- ア 校長及び部活動顧問、外部指導員等は、生徒の心身の健康管理、事故防止及び体罰・ハラスメントの根絶を徹底する。教育委員会は、学校における取組が徹底されるよう、学校保健安全法等も踏まえ、適宜、支援及び指導・是正を行う。
- 部活動指導においては、東京都における体罰関連行為のガイドラインを厳守するとともに、生徒間でも同様に暴力行為やいじめ等の発生を防止する必要がある。

- イ 部活動顧問は、生徒とのコミュニケーションを十分に図り、生徒が燃え尽き症候群となることなく、技能や記録の向上並びに文化及び科学に親しむ基礎を培う等それぞれの目標が達成できるよう、各部活動の特性等を踏まえて、休養を適切に取りつつ、短時間で効果が得られる指導を行う。

また、運動部活動においては、専門的知見を有する保健体育担当の教師や養護教諭等と連携・協力し、発達の個人差や女子の成長期における体と心の状態等に関する正しい知識を得たうえで指導を行う。

### (2) 指導の手引き等の活用

- ア 合理的でかつ効率的・効果的な活動にするために、各種団体等が作成した指導の手引き等を活用して、適切な指導を実施する。

## 3 適切な休養日等の設定

休養日及び活動時間については、成長期にある生徒が運動、食事、休養及び睡眠のバランスが取れた生活を送ることができるよう、各部活動において、大会・コンクール等の予定を鑑みて計画的に設定し、生徒の過度の負担とならない合理的で、かつ効率的・効果的な活動となるようにする。

[注]文中における「週当たり」とは、月曜日から日曜日の7日間とする。

### (1) 休養日

#### ア 学期中

週当たり、原則として2日以上以上の休養日を設ける。週休日は、いずれか1日を休養日とする。ただし、週休日における公式大会・コンクール等についてはこの限りでない。週休日に休養日を確保できない場合は、直近の月曜日を休養日とする。

#### イ 長期休業期間

学期中に準じるが、教育活動休止日などを中心に、連続した休養日の確保に努める。

## (2) 活動時間

### ア 学期中

週当たり、原則として16時間を超過しない。(各日の活動時間は、国のガイドライン及び東京都の方針を目安とする。)

### イ 長期休業期間

学期中に準じる。ただし、月間・週間の目安を設定し、弾力的な活動時間の設定ができることとする。

## (3) 休養日・活動時間等の設定の工夫

学校は、定期考査前後の一定期間等、学校全体や部活動共通の休養日を設けるなど、地域や学校の実態を踏まえて、保護者への理解を図りながら、適切な指導に向けた休養日・活動時間等の設定を工夫する。

## 4 生徒のニーズを踏まえた環境整備

### (1) 生徒のニーズを踏まえた部活動の設置

ア 各学校は、学校の状況が許す限り生徒の多様なニーズに応じた活動を行うことができるよう部活動の設置に努める。

イ 教育委員会及び校長は、少子化に伴い、単一の学校では特定の部活動を設けることができない場合には、生徒の活動の機会が損なわれることのないよう、複数校の生徒が拠点校の部活動に参加する等、合同部活動等の取組を工夫し推進する。

### (2) 地域との連携等

ア 教育委員会及び校長は、生徒のスポーツ並びに文化及び科学等の活動環境を充実する観点から、学校や地域の実態に応じて、地域のスポーツ団体、文化団体等との連携、保護者の理解と協力、民間事業者の活用等による、学校と地域が共に子どもを育てるという視点に立った、学校と地域が協働・融合した形での地域における環境整備を進める。

イ 教育委員会及び校長は、学校と地域・保護者が共に子どもの健全な成長のための教育や、スポーツ、文化、科学等の活動環境の充実を支援するパートナーという考え方の下で、こうした取組を推進することについて、保護者の理解を促す。

## 5 学校単位で参加する大会・コンクール等の見直し

(1) 教育委員会は、学校の運動部や文化部が参加する大会・コンクール等の全体像を把握し、週末等に開催される様々な大会・コンクール等に参加することが、生徒や部活動顧問の過度の負担とならないよう、その参加数について、東京都中学校体育連盟等の団体が定める目安を参考に、学校や地域の実態、競技等の特性を踏まえて、学校が判断できるよう必要な協力や支援を行う。

(2) 校長は、教育委員会からの助言等を踏まえ、生徒の教育上の意義や、生徒や部活動顧問の負担が過度とならないことを考慮して、参加する大会等を精査する。

**※緑野中学校では、中野区部活動ガイドラインに沿って、保護者や地域の方々と協力しながら、生徒の健全育成のために部活動を行っています。具体的な活動日数は、次に示します。**

## 中野区立緑野中学校 部活動に関する活動方針及び年間予定

活動方針	<p>○開設する運動部や文化部の活動に興味関心のある同好の生徒が参加し、顧問の指導監督の下それぞれの運動・文化活動に親しみ技能向上を図ると共に、自己肯定感、責任感および連帯感の涵養に資する。</p> <p>○異年齢との交流の中で生徒同士や生徒と教師の好ましい人間関係を図り、心身の成長と共に「知・徳・体」のバランスのとれた「生きる力」を育む。</p>			
休養日等 設定方針	<p>○原則、土曜日・日曜日の2日連続の活動は行わない。</p> <p>※日曜日に大会等や試合がある場合には、土曜日に準備のための練習や試合を行うことを可とする。</p> <p>○夏期休業期間の教育活動休止日や年末年始は部活動休止期間とする。</p> <p>○定期テスト前一週間は、部活動中止期間とする。</p> <p>※公式戦前は、保護者の確認をとり17時30分までの練習を可とする。</p> <p>○大会等で、土曜日・日曜日を連続で活動した場合や体育祭や宿泊行事の後は、部活動の休止日を設定する。</p> <p>※学校として統一した休養日の設定の基準や活動時間等について記載する。</p>			
	部活動名	活動日	年間の活動予定	
設置されている部活動	運 動 部	<b>陸上競技部</b>	月・火・水・金 ■土又は日	4～6月 春季大会、7～8月 夏季大会、 10～11月 秋季大会
		<b>男子バスケットボール部</b>	火・木・金 ■土・(日)	4～5月 春季大会、6～8月 夏季大会、 10～11月 秋季大会
		<b>女子バスケットボール部</b>	火・木・金 ■土・(日)	4～5月 春季大会、6～8月 夏季大会、 10～11月 秋季大会
		<b>サッカー部</b>	月・火・木・金 ■土又は日	4～5月 春季大会、6～7月 夏季大会、 10～11月 秋季大会
		<b>野 球 部</b>	月・火・木・金 ■土又は日	4～6月 春季大会、7～8月 夏季大会、 10～11月 秋季大会
		<b>バレーボール部</b>	月・水・金 ■土・(日)	4～6月 春季大会、6～8月 夏季大会、 9～11月 秋季大会
		<b>バドミントン部</b>	月・水・木・金 ■土・(日)	5～6月 春季大会、6～7月 夏季大会、 10～11月 秋季大会
		<b>硬式テニス部</b>	月・火・木・金 ■(土)(日)	4～6月 春季大会、7～8月 夏季大会、 10～11月 秋季大会
		<b>卓 球 部</b>	月・火・木 ■(土)	4～6月 春季大会、7～8月 夏季大会、 10～11月 秋季大会
	文 化 部	<b>吹 奏 楽 部</b>	月・火・木・金 ■(土)	8月都吹奏楽コンクール 9月地域祭り演奏会
		<b>美 術 部</b>	月・木	5月中野サンモール展示、2月校内作品展
		<b>家庭生活部</b>	月・木	2月校内作品展、季節や年中行事に合わせた調理
		<b>ボランティア部</b>	不定期(夏・春・冬 休み、土日)	5月東山祭り、7月丸山花火大会、8月地域 ラジオ体操、9月野方祭
	<b>剣 道 部</b>		中体連登録のみ。 申し出のある生徒の試合出場を保証する	

( ) は、大会等の日程により活動日となることがある。

中野区立緑野中学校 設置部活動計画（平成 31 年 1 月現在）

※部員数は、平成 31 年度 4 月の参加状況

主な活動実績は、平成 27 年度以降のブロック大会以上の大会に出場したもの

【運動部】

■陸上競技部（男・女）

年間目標	○走る・投げる・跳ぶ等の陸上競技運動能力の向上を図る。 ○中体連主催の大会に参加し、上位入賞を目指す。						
部員数	19名	1年	5名	2年	10名	3年	4名
活動内容	走・投・跳全般。基本的に走りを中心とする。						
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 27 年度 関東大会 200M 優勝・全国大会出場（種目：100M 200M）</li> <li>平成 30 年度 中野区連合陸上大会 総合 優勝</li> <li>平成 30 年度 6 年連続都大会出場 複数入賞</li> </ul>						

■男子バスケットボール部

年間目標	○バスケットボールにおける運動能力の向上を図る。 ○中体連主催の大会に参加し、上位入賞を目指す。						
部員数	14名	1年	8名	2年	4名	3年	2名
活動内容	バスケットボールの基礎から試合に通用する応用技術の習得を目指す。						
主な実績	・平成 28 年度、男子夏季選手権大会・都大会出場						

■女子バスケットボール部

年間目標	○バスケットボールにおける運動能力の向上を図る。 ○中体連主催の大会に参加し、上位入賞を目指す。						
部員数	17名	1年	4名	2年	9名	3年	4名
活動内容	バスケットボールの基礎から試合に通用する応用技術の習得を目指す。						
主な実績	・平成 30 年度春季ブロック大会三回戦出場						

■サッカー部

年間目標	○サッカーにおける運動能力の向上を図る。 ○中体連主催の大会に参加し、上位入賞を目指す。						
部員数	19名	1年	4名	2年	11名	3年	4名
活動内容	個人技術を磨く基礎練習および、チームプレーを深める実践練習。						
主な実績	・平成 30 年度秋季ブロック大会出場						

### ■野球部

年間目標	○野球における運動能力の向上を図る。 ○中体連主催の大会に参加し、上位入賞を目指す。						
部員数	11名	1年	3名	2年	6名	3年	3名
活動内容	打撃練習・走塁練習・守備練習。冬は基礎体力作りメニュー。						
主な実績							

### ■女子バレーボール部

年間目標	○バレーボールにおける運動能力の向上を図る。 ○中体連主催の大会に参加し、上位入賞を目指す。						
部員数	14名	1年	6名	2年	3名	3年	5名
活動内容	基礎練習を中心に、個人技能・チーム力の向上に日々取り組む。						
主な実績	・平成28年度 秋季大会 ブロック大会出場						

### ■バドミントン部（男・女）

年間目標	○バドミントンにおける運動能力の向上を図る。 ○中体連主催の大会に参加し、上位入賞を目指す。						
部員数	35名	1年	11名	2年	14名	3年	10名
活動内容	基礎練習と試合形式のゲーム。						
主な実績	・平成29年度 夏季大会（男子団体4位・女子団体3位） ・平成30年度 秋季大会（男子団体4位 女子団体・個人ブロック大会出場）						

### ■硬式テニス部（男・女）

年間目標	○硬式テニスにおける運動能力の向上を図る。 ○中体連主催の大会に参加し、上位入賞を目指す。						
部員数	31名	1年	15名	2年	8名	3年	8名
活動内容	テニスの基礎練習と試合形式のゲーム						
主な実績	・平成30年度 春季大会・夏季大会出場・秋季大会 都大会出場						

### ■卓球部（男・女）

年間目標	○卓球における運動能力の向上を図る。 ○中体連主催の大会に参加し、上位入賞を目指す。						
部員数	23名	1年	10名	2年	8名	3年	5名
活動内容	基礎練習（ドライブ・ショート・カット等）と試合形式のゲームが基本。						
主な実績	・平成30年度 夏季大会 個人戦都大会出場 ・平成30年度 秋季大会 個人戦都大会出場						

## 【文化部】

### ■吹奏楽部（男・女）

年間目標	○吹奏楽における技術の習得・向上を図る。 ○都吹奏楽コンクールに参加し、上位入賞を目指す。						
部員数	35名	1年	15名	2年	8名	3年	12名
活動内容	体育祭・合唱コンクール等行事での演奏、お祭り参加、コンクール、定期演奏会。						
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度 東京都吹奏楽コンクール 銅賞</li> <li>・平成29年度 東京都吹奏楽コンクール 金賞</li> <li>・平成30年度 東京都吹奏楽コンクール 銀賞</li> </ul>						

### ■美術部（男女）

年間目標	○美術における表現・創作能力の向上を図る。 ○中野区サンモール展示、区・都美術展、校内作品展に出品し入賞を目指す。						
部員数	14名	1年	7名	2年	6名	3年	1名
活動内容	平面作品・立体作品・個人/共同制作を行う。						
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年から平成30年度 中野区サンモール展覧会</li> <li>・区美術展、校内作品展</li> </ul>						

### ■家庭生活部

年間目標	○家庭科における調理活動を通じて、技術向上を図る。 ○食生活についての知識、理解を深める。						
部員数	16名	1年	6名	2年	4名	3年	6名
活動内容	家庭生活にかかわる調理・手芸などの制作活動や体験活動を行う。						
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育についての資料の校内掲示、生徒への啓発活動</li> </ul>						

### ■ボランティア部

年間目標	○地域連携委員会と協力して、町会や地域行事のお手伝いを行う。 ○東山祭り、ラジオ体操、地域清掃、沼袋・野方祭りに参加する。						
部員数	2名	1年	0名	2年	0名	3年	2名
活動内容	地域連携委員とともに活動をするほか、部独自の企画も行う。						
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度から平成30年度 東山高齢者会館祭り準備・片付け</li> <li>・平成27年度から平成30年度 妙正寺川マラソンボランティア</li> </ul>						